

# 津久見市津波ハザードマップ

## 四浦四・五・六区

## 保戸島区

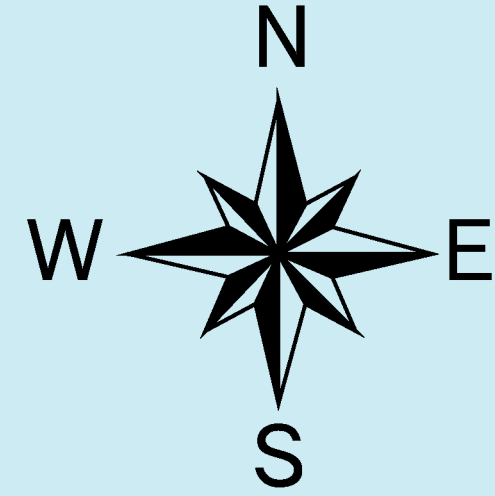
# 津波浸水予測図

今回、市内全域（八戸地区除く）の津久見市津波ハザードマップ（津波浸水予測図）を作成しました。

平成24年8月に国から現時点での最新の科学的知見に基づく、「発生しうる最大クラスの南海トラフ巨大地震」の予測が公表され、想定データのケース11を基に大分県の有識者会議が大分県津波浸水予測調査を行い、津久見市では今回このような津波浸水域が示されました。

これはあくまでも予測であり、すばやく赤色実線の海拔10m以上地域の津波一時避難所へ避難して下さい。

平成25年4月作製



### 指定避難所 近くの避難所を確認しましょう

地区名	一時避難所			海拔 (m)	収容避難所	収容人員 (人)	TEL
	風水害	地震	津波				
四浦四区	越智小学校 2階	越智小学校グラウンド	松ヶ浦	H=9	越智小学校	550	88-2004
			松ヶ浦吉ヶ浦	H=10			
			松ヶ浦賢女ヶ浦	H=13			
			狩床擁壁	H=11			
松ヶ浦地区 狩床地区			狩床内ヶ浦	H=10			
			狩床ミノ泊	H=11			
			狩床高井	H=12			
四浦五区	大元地区集会所	付近の空き地	大元中ノ谷	H=10	越智小学校	550	88-2004
	西泊地区集会所		大元東墓地	H=12	間元地区集会所	30	88-2746
			西泊東ノ谷	H=15			
			西泊西ノ谷	H=11			
大元地区 西泊地区 間元地区			間元東ノ谷	H=9			
			間元西ノ谷	H=11			
四浦六区	越智小学校 2階	高浜小学校跡地グラウンド	トンネル入口	H=14	越智小学校	550	88-2004
			トンネル入口	H=16			
			高浜臨海体育施設裏	H=12			
			浅尻	H=13			
高浜地区			貯水池下	H=11			
			高浜大谷	H=11			
保戸島区	保戸島小中学校	保戸島小中学校	カンバ(大波磯側)	H=17	保戸島中学校	600	87-2046
	保戸島漁協 2階	付近の空き地	カンバ(長バエ側)	H=13	保戸島小中学校体育館	420	
	保戸島地区集会所		熊徳寺	H=10			
			法照寺	H=13			
		公園地北側	H=13				
		公園地南側	H=17				

わが家の避難場所は、

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

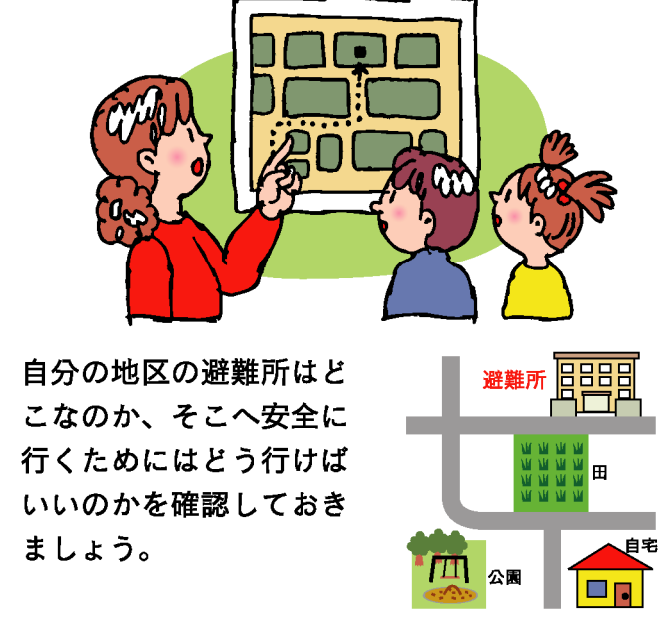


### 地図の見方

地形	行政界、地区界	公共施設・主要施設
等	海拔10m以上地域	消防格納庫
避難場所	風水害一時避難所	大海や台風などによる河川等の氾濫や浸水時に、避難するところ
等	地震一時避難所	地震が発生した時に避難するところ
	津波一時避難所	津波が発生した時に避難するところ
	津波避難ビル(施設)	津波が発生した時に避難するビル(施設)
	市指定収容避難所	市の地域防災計画により指定された収容避難所
津波浸水深	10m以上	3階建ての建物(または3階部分まで)が完全に水没します。
	5m以上10m未満	2階建ての建物(または2階部分まで)が水没します。
	2m以上5m未満	木造家屋のほとんどが全壊します。
	1m以上2m未満	津波に巻き込まれた場合、ほとんどの人が亡くなります。
	0.3m以上1.0m未満	避難行動がとれなく(動くことができない)となります。
	0.01m以上0.3m未満	避難行動がとれなく(動くことができない)となります。

### 避難ルートを家族みんなで確認しておこう!

■オリジナルマップの作成  
家族みんなで避難所まで歩いてみましょう。実際に歩いてみて、安全で避難しやすい経路を探してあなたの経路図をこの地図に書き込んでみましょう。



自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ安全に行くためにはどう行けばいいかを確認しておきましょう。

### 津波避難三原則

1. 想定にとらわれるな  
自然現象としてあらゆる事態が起こる
2. 最善を尽くせ  
その状況下でできる限りの行動をとる
3. 率先避難者たれ  
集団心理が働き多くの人を救う

参照：群馬大学大学院 片田敏孝教授著「人が死なない防災(集英社新書)」

### 津波からの避難ポイント

- できるだけ高いところに逃げる。
  - 自分から進んで逃げる。
  - もっと安全なところまで逃げられないか考える。
  - 津波が来るときは、一度波が引いて、海面が下がるとは限らず、いきなり高い津波が襲ってくることもある。
  - 体で感じるゆれが小さいからといって、津波も小さいとは限らない。ゆれが小さくても、津波警報が出たときは、すぐに避難すること。
  - 津波は地震のあと、すぐに襲ってくる場合があります。急いで、できるだけ高い場所へ逃げ、一度避難した後も安心しないでより高い場所へ逃げましょう。
  - 津波は川もさかのぼり、何キロもさかのぼった津波が氾濫することがあるので避難するときには注意しましょう。
- (出典：気象庁「津波から逃げる」)



◎津波一時避難所の表示  
津波の高さは、東京湾平均海面(TokyoPeil:T.P.)で発表されるため、一時避難所として道路(農道、里道等を含む。)に、概ね海拔10m(T.P.)の地点に「津波避難目標地点」を掲示しています。  
◎津波一時避難所への避難誘導の表示  
避難誘導の表示として、地盤の海拔(T.P.)及び避難方向を矢印で掲示しています。幹線道路(干怒~青江(国道)、彦ノ内~青江(県道))の誘導表示については、渋滞等の混乱を避けるため直進の表示とし、幹線道路以外の市道等については、最寄の一時避難所に誘導するように表示しています。